

鈴蘭台駅周辺整備を考える会

発行 平成19年12月

編集 鈴蘭台駅周辺整備を考える会事務局

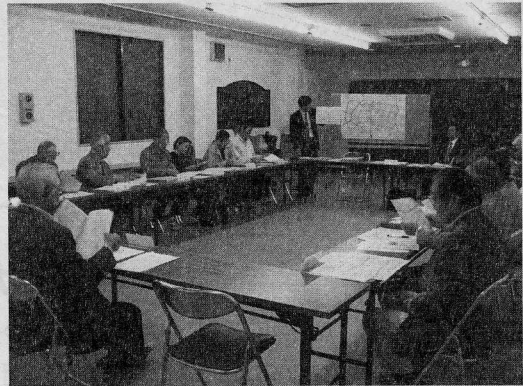
ニュース
第12号

神戸市から、鈴蘭台幹線の整備に向けた取り組み について説明がありました。

昨年の7月29日に開催した「鈴蘭台駅周辺整備を考える会」において、神戸市から鈴蘭台幹線の整備に向けた進め方について提案がありました。沿道自治会と具体的な進め方を十分相談した上で、住民のみなさんに神戸市から説明をしていただくことになりました。

これを受けて、神戸市が鈴蘭台幹線の計画区域を含む3自治会（小部第2地区自治会、鈴蘭台北自治会、鈴蘭台東町1,2丁目自治会）と相談を行い、各自治会単位で「第1回鈴蘭台幹線整備に関する意見交換会」や現地相談所の開設が行われました。また、今年4月からは、これまでの意見等をふまえて、計画の見直しや整備のあり方について、「鈴蘭台幹線に関する意見交換会」が4回開催されました。

そこで、10月29日に「鈴蘭台駅周辺整備を考える会」を開催し、計7回の意見交換会で得られた様々なご意見などについて、神戸市から報告いただくことにいたしました。当日の神戸市からの説明内容は裏面をご参照ください。



神戸市より取り組みの報告を受けました

会合での主な意見

- ・43年間、道の幅が狭く危険な思いをしてきた。地権者の意見を尊重することが前提だが、危険性が解消される鈴蘭台幹線の整備を、全面的に進めてほしいと思う。
- ・意見交換会では、沿道の自治会に呼びかけをしてその人たちが中心で意見を言ってきた。鈴蘭台幹線の沿道地域だけでなく、鈴蘭台の広い範囲でどうしていくべきかを考えていくべきだと思う。
- ・これまでは鈴蘭台駅周辺の整備がどうなるのか分からない状態だったが、ようやく半歩なり、1歩なり進む機会になったと思う。この機会に地元としてきっちりまとまるべきだろう。
- ・「駅前の整備」も「鈴蘭台幹線の整備」も鈴蘭台にとって重要な課題であり、それぞれが関連する整備なので、同時並行で進める方法はよいと思う。

※今後、「考える会」として、よりよい鈴蘭台のまちづくりのために「どのような組織体制」で「どのように進めていくべきか」を十分に議論することが必要です。後日、理事会で方向性を出していくことになりました。みなさまのご協力、よろしくお願いします。